

塾長コラム～「暗記」

先日、自習をしている生徒った血の様子をみているとき、

「先生、単語、全然覚えられへん～」という、生徒の声が。

そして同時に、「どうやったら覚えられるの？」という質問も。

勉強する上で、だれもが経験することですよね。

もっと効率よく覚えることができればいいのにと、だれもが思っているはずですが、

そこで、以前に書いたコラムを再掲しておきます。

勉強はまず覚えることから始まる

「暗記」は、勉強する上で最も基本的で大切なことのひとつです、

『「暗記」なくして勉強は成り立たない』というぐらい大切なことですよ。

英単語、漢字の読み書き、社会の語句や年表、数学・理科の公式・・・等々。

もちろん勉強は「暗記」だけではなく、物事を深く理解し、考える力を養うことが、

「暗記」以上に重要であるのは言うまでもありません。

だけど英単語を覚えずに長文が読めるはずもなく、

九九を覚えずに四則計算ができるわけがないのです。

つまり、勉強をするうえで絶対に避けて通れないのが「暗記」なんですね。

ところで暗記には2通りあるのを知っていますか？

いわゆる「丸暗記」と呼ばれる暗記

一つは、いわゆる「丸暗記」と呼ばれる、無理やり覚えるものです。

これは、意味もなくただ無理やり覚えなければならないものです。

どちらかといえば、少し「根気」と「苦痛」を伴う暗記です。

例えば、右の地図を見てください。

a,b,cの地域はそれぞれ何と呼ばれるか。答えは、

b・・・ミクロネシア a・・・メラネシア c・・・ポリネシア ですね。

これらを覚えるのは、理屈も何もなく、無理やり覚えるしかないのです。

「ワークや問題集をやって、教科書で調べて答えを書き写す」という作業の中で、自然に覚えるようになるかといえば、そんなことはほとんどないんですね。

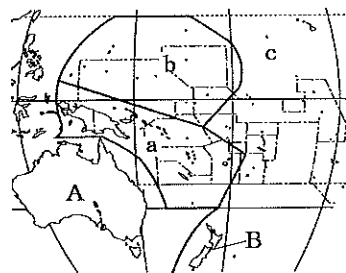
ましてや、教科書を眺めているだけでももちろんダメでしょう。

覚えるために様々な工夫や努力が必要になってくるのです。

私はこれを覚えるために「ミクちゃん、メラメラ、ポリネシア」と抑揚をつけながら、何度も反復して覚えていました。

古くからある様々な語呂合わせも、覚えるための知恵として生み出されてきたものです。

「鳴くよ（794年）ウグイス平安京」（794年に桓武天皇が平安京に都を移転）、



「人の世むな（1467年）しい応仁の乱」（1467年応仁の乱が始まる）などです。何の工夫も努力もしないで、自然に覚えられるということは決してないのです。時には、何度も書いてみたり、声に出してみたりしながら、努力して覚えているのです。

他の事柄との関係の中で暗記するもの

そしてもう一つは、意味を理解し他との関係の中で覚えていくものです。例えば下の問題を見てください。

次の資料A・Bは、日本のある時代における政治の仕組みを表したものである。ア～ウに当てはまる語句をそれぞれ答えなさい。

資料A

資料B

「将軍の次の位は・・・」と覚えるだけでは決してこの問題を解くことはできません。将軍の次の位は、鎌倉時代なら「執権」、室町時代なら「管領」、江戸時代なら「老中」だからです。

そうするとアとウはその3つのうちどれが当てはまるかがわからなくなってしまいます。そこで、他の部分に目をやるわけです。「守護・地頭」が置かれたのは「鎌倉時代と室町時代」だから、どちらも江戸幕府ではありません。したがって、「老中」ははずれることになります。

次に「鎌倉府」に目をやります。「鎌倉府」は幕府の所在地から離れた関東地方の統制のために設置された役所なので、資料Bは鎌倉幕府ではなく室町幕府であると考えられます。このように考えて、アは執権、ウは管領であることが導き出されます（イは六波羅探題）。このような場合、単純に一問一答形式で覚えるのではなく、なぜその答えになるのかをしっかりと考えて覚えていかなければならないのですね。

実は、このようにして他との関係から暗記したものは、単なる「丸暗記」よりも長く記憶に残ることが多いのも事実です。

一口に「暗記」と言っても、様々な方法があります。まず自分なりに工夫をし、時には先生と相談しながら、しっかり頑張ってくださいね。

でも、「暗記」で最も大切なことは興味を持ち、楽しむことです。どんなに覚えることが苦手だという人も、ゲームなどの興味のある分野はいくらでも覚えられますよね。

まずは、授業中の先生の話をよく聞き、そして、楽しみながら覚えていくようにすることが「暗記」をする上での一番の近道です。中間テストも頑張ってくださいね。

高校部

共通テストとは

昨年度、大学入試において大きな変革がありました。それは、約30年間続いたセンター試験が廃止され、共通テストが導入されたということです。名前は聞いたことがあるけど、どんなテストで、センター試験と比べてどう変わったのかよくわからないという人も多いと思います。今回は共通テストについてまとめました。

共通テストは『国公立大の一次試験』と『私立大の併願校受験』

①国公立大の一次試験

国公立大学の入試には、一次試験と二次試験があります。その一次試験こそが、毎年1月中旬に2日間実施され、全国一斉に同じ問題解く共通テストです。2月下旬に実施される大学別の二次試験を受け、**共通テストとの合計点で合否が決まります。**なお、受験科目や数は志望大学によって決まりますが、ほとんどの国公立大学が7科目以上を受験科目として課しています。



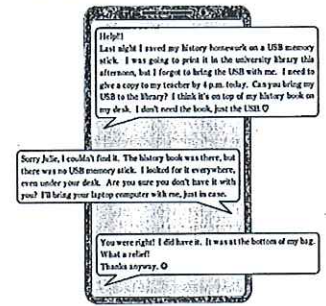
②私立大の併願校受験(共通テスト利用)

私立大学には、いわゆる共通テスト利用という入試方法があります。共通テストの点数を志望校に送り、その点数だけで合否を判定してもらう方法です。一般的に大学別の試験よりも倍率が高くなり、合格難易度も高いので、滑り止めの大学に出願する人が多いです。**対策をせずに済むことや、試験を受けなくも済む時間的なメリットが大きいです。**

センター試験との違いは『思考力』と『文量』

センター試験では、知識を問う問題が多い傾向がありました。しかし、共通テストでは、知識よりも思考力を試す問題が多いです。特に英語では、**センター試験のような文法やアクトセントの問題が共通テストでは一切なくなりました。**全て長文読解です。メールのやり取りや、長文を読みながら図や表を解読する問題や、次に起こる出来事を推測させる問題、リスニングの配点が50点満点から100点満点に変更となったり、より実践的な英語力が求められました。また、文量も大幅に増え、総単語数が約1200語増加しました。

第1問 (配点 10)
A Your dormitory roommate Ji'e has sent a text message to your mobile phone with a request.



もちろん英語だけでなく、他の科目も同じく図や表を用いた問題や思考力を問う問題、文量自体も多くなっています。下の図の左がセンターの数学(二次関数)で、右が共通テストの数学(これも二次関数)です。**制限時間内に解くためには、速く正確に文を読む力と情報を素早く整理する力、それを式にして解く力が必要となりました。**

数学 I・数学 A

(3) c を定数とする。2次関数 $y = x^2$ のグラフを、2点 $(c, 0)$ 、 $(c + 4, 0)$ を通るように平行移動して得られるグラフを G とする。

(1) G をグラフにもつ2次関数は、 c を用いて

$$y = x^2 - 2(c + \text{ツ})x + c(c + \text{テ})$$

と表せる。

2点 $(3, 0)$ 、 $(3, -3)$ を両端とする線分と G が共有点をもつような c の値の範囲は

$$-\text{ト} \leq c \leq \text{ナ}, \quad \text{ニ} \leq c \leq \text{ヌ}$$

である。

(2) $\text{ニ} \leq c \leq \text{ヌ}$ の場合を考える。 G が点 $(3, -1)$ を通るとき、 G は2次関数 $y = x^2$ のグラフを x 軸方向に ネ 、 y 軸方向に ハヒ だけ平行移動したものである。また、このとき G と y 軸との交点の y 座標は $\text{フ} + \sqrt{\text{ホ}}$ である。

令和2年度センター試験数学 I・A
二次関数の問題

第2問 (必答問題) (配点 30)

(1) 陸上競技の短距離100m走では、100mを走るのにかかる時間(以下、タイムと呼ぶ)は、1歩あたりの進む距離(以下、ストライドと呼ぶ)と1秒あたりの歩数(以下、ピッチと呼ぶ)に関係がある。ストライドとピッチはそれぞれ以下の式で与えられる。



$$\text{ストライド (m/歩)} = \frac{100 \text{ (m)}}{100 \text{ m を走るのにかかった歩数 (歩)}}$$

$$\text{ピッチ (歩/秒)} = \frac{100 \text{ m を走るのにかかった歩数 (歩)}}{\text{タイム (秒)}}$$

ただし、100mを走るのにかかった歩数は、最後の1歩がゴールラインをまたぐこともあるので、小数で表される。以下、単位は必要のない限り省略する。

例えば、タイムが10.81で、そのときの歩数が48.5であったとき、ストライドは $\frac{100}{48.5}$ より約2.06、ピッチは $\frac{48.5}{10.81}$ より約4.49である。

なお、小数の形で解答する場合は、解答上の注意にあるように、指定された桁数の一つの桁を四捨五入して答えよ。また、必要に応じて、指定された桁まで④にマークせよ。

(数学 I・数学 A 第2問は次ページに続く。)

令和3年度共通テスト数学 I・A
二次関数の問題



2021 年度 「夏期講習」 終了！

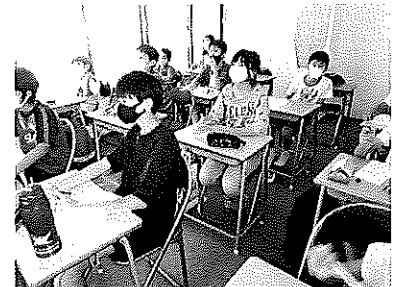
【7月21日(水)～8月28日(土)】



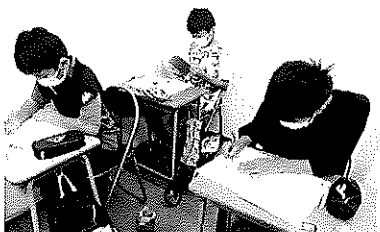
受験が控える中3生、高3生をはじめ、WILL の塾生全員が長い夏を無事乗り切ることができ、約4週間におよぶ夏期講習が終わりました。

小学生は授業時間を増やして学習に取り組みました。

いつもより長い勉強時間でしたが、途中で「脳トレ」の練習をするとテンションが上がって元気が回復！8/27(金)に行われた「脳トレ」の本番では、大盛り上がり！小6生はもちろん、小4、5生も大健闘でしたね！



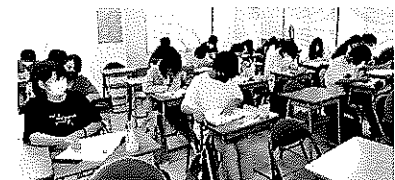
**優勝は T.A さん！
ぶっちぎりでしたね！**



中1、2生もたくさんの生徒が夏期講習を受講してくれました！

中1、中2生の夏期講習は、1学期の復習と2学期の学習内容の先取りがメイン。そして仕上げに、サマー特訓で夏期講習期間に学習した内容を復習。アンケートでは「夏期講習で勉強したところを、サマー特訓で復習したら、スラスラ解けるようになった！」と書いてくれた子もいました。

そして、中3生。本当にお疲れさまでした。夏期講習だけでなく部活との両立、夜は抜けてしまった授業の補習、その間の時間を使って学校の宿題…などなど、やることが盛りだくさん！こんなに大変な夏休みを過ごしたのは初めてだったのではないのでしょうか。



ほぼ毎日朝から晩までの夏期講習。疲れた～と言いながらも、休み時間は元気いっぱいでしたね！本当によく頑張りました！



中3生、この夏で偏差値平均5アップ！

今年の中3生も見事な結果を出してくれました！塾全体の平均で偏差値が5もアップしていたんです！！これは、生徒1人1人の頑張りの結果です。なんとなく勉強するのではなく、自ら問題を解き、わからないことをできる限り自分の力で解決し、「できる」ようになったからこそ得られた結果なのです。

ただし、夏期講習が終わったからと言って気を抜いてはいけません。この夏で学んだことを2学期に発揮できるよう、学校でも塾でも全力で取り組みましょう。そして、志望校に近づけるように継続して努力しましょう！

高校部も夏期講習で限界突破！

高3生は1日約9時間を4週間やり抜き、夏期講習前とは別人のようになりました。夏の間基礎を固めたことは、10月以降の問題演習で必ず生きてきます！秋以降は学校が終わってからの勉強になるので、十分な勉強時間を確保することが難しくなります。**塾へ積極的に来て自習し、限られた時間の中で効率良く勉強しましょう。**

高1、2生の夏期講習では、英・数のうち1科目に絞って2学期の先取りをしました。2学期は文化祭や体育祭など、行事が盛りだくさんなので、勉強がおろそかになり、授業についていけなくなる人が多くなる時期です。夏の間2学期の範囲を学習したかどうかで、大きな差が出てきます。もちろん先取りをしたからといって、学校の授業をおろそかにしないでくださいね。



最後になりましたが、この夏休みも多大なるご協力をいただきました保護者の皆さまに、この場を借りて厚くお礼申し上げます。